

伊方原子力発電所周辺環境放射線等調査（通常調査）試料
からの放射性物質の検出について

愛媛県では、伊方原子力発電所周辺環境放射線モニタリングとして、環境試料を定期的に採取・測定し、四半期ごとにとりまとめ公表しているところですが、今般、別添のとおり、海藻類（ほんだわら）と大気浮遊じん（塵）から人工放射性核種が検出されましたのでお知らせします。

海藻類（ほんだわら）から放射性ヨウ素-131が0.95ベクレル/kg検出されましたが、食品衛生法の規定に基づく暫定規制値2,000ベクレル/kgの約2,000分の1であり、人体に影響はありません。

また、大気浮遊じん（塵）については伊方町及び松山市で採取しており、放射性ヨウ素-131、セシウム-134、137が検出されましたが、測定結果は、既に公表済の福島第一原子力発電所事故の監視強化に伴う原子力センターでの測定値と同程度で、ごく微量であり、人体に影響はありません。

この調査結果は、伊方原子力発電所周辺環境放射線等調査（通常調査）として実施しているもので、通常は四半期毎にとりまとめ、専門家の意見を聞いた上で公表しているものですが、今回の福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、愛媛県が実施した調査において人工放射性核種が検出された際は速報値としてホームページにお知らせする予定です。

1 海藻類（ほんだわら）

(1) 採取場所、採取日時、検出された核種の濃度

採取地点	採取日時	種類	濃度
伊方町九町越沖	4月19日8時	ヨウ素-131	0.95ベクレル/kg

(2) 県内における過去の最大値

採取地点	採取年月日	種類	濃度
伊方町九町越沖	昭和52年10月13日	ヨウ素-131	3.0ベクレル/kg

(3) 他県の検出状況

採取地点	海藻	種類	濃度
石川県志賀町	わかめ	ヨウ素-131	0.17ベクレル/kg
	ほんだわら	ヨウ素-131	0.15~0.35ベクレル/kg
佐賀県玄海町	ほんだわら	ヨウ素-131	0.77ベクレル/kg

2 大気浮遊じん（塵）

(1) 採取場所、検出された核種の濃度

採取地点		ヨウ素 - 131		セシウム - 134	セシウム - 137
		ちり状	ガス状		
伊 方 町	九町越公園	0.34 ミリベクレル/m ³	0.8 ミリベクレル/m ³	0.11 ミリベクレル/m ³	0.09 ミリベクレル/m ³
	湊 浦	0.41 ミリベクレル/m ³	0.6 ミリベクレル/m ³	0.09 ミリベクレル/m ³	0.08 ミリベクレル/m ³
	豊之浦	0.41 ミリベクレル/m ³	0.7 ミリベクレル/m ³	0.08 ミリベクレル/m ³	0.10 ミリベクレル/m ³
	加 周	0.38 ミリベクレル/m ³	0.8 ミリベクレル/m ³	0.10 ミリベクレル/m ³	0.08 ミリベクレル/m ³
松 山 市		0.42 ミリベクレル/m ³	1.0 ミリベクレル/m ³	0.08 ミリベクレル/m ³	0.09 ミリベクレル/m ³

採取期間：4月11日～12日

法令上の基準値（周辺監視区域外の空气中濃度限度）

ヨウ素 - 131 : 5,000 ミリベクレル/m³

セシウム - 134 : 20,000 ミリベクレル/m³

セシウム - 137 : 30,000 ミリベクレル/m³

(2) モニタリング監視強化の大気浮遊じんの状況（原子力センター：八幡浜市保内町）

採取日時	ヨウ素 - 131		セシウム - 134	セシウム - 137
	ちり状	ガス状		
4/10 15時 ～4/11 15時	0.58 ミリベクレル/m ³	1.0 ミリベクレル/m ³	0.13 ミリベクレル/m ³	0.13 ミリベクレル/m ³
4/11 15時 ～4/12 15時	0.50 ミリベクレル/m ³	検出されず	0.09 ミリベクレル/m ³	0.07 ミリベクレル/m ³

(3) 過去の測定状況（最高値・松山市）

核種	ヨウ素 - 131	セシウム - 134	セシウム - 137	備 考
最大値	150 ミリベクレル/m ³	19 ミリベクレル/m ³	37 ミリベクレル/m ³	昭和61年5月8～9日
半減期	約8日	約2年	約30年	

チェルノブイリ事故の影響と推定

原子炉内の核分裂によって生成され、天然には存在しない。

3 伊方発電所の状況

排気筒モニタ及び排水口モニタに異常は確認されていない。



ホンダワラ写真